

8月30日衆院選

政権懸け自・民激突

今月21日にも解散



首相官邸に入る麻生首相＝13日午前

「政権担当能力」の違いを強調。自公連立の継続か、民主、社民、国民新の3党連立か、政権交代の是非が最大の争点となる。自民党は12日の東京都議選で惨敗。内閣支持率が低迷している中で解散で、対立を抱えたままの選挙戦を迎える。

政策面では世界的な景気低迷を受け、景気、雇用対策が焦点。麻生政権の実績と各党のマニフェスト(政権公約)の優劣が問われる。国民の関心が高い社会保障制度の見直しとその財源問題も選挙戦の論点だ。

麻生太郎首相は7月21日の週に衆院解散、8月30日衆院選を決断した。

13日昼の与党幹部との会談で合意した。公示は8月18日となる。衆院選が実施されるのは、郵政民

営化を訴えた小泉純一郎首相(当時)の下で自民党が圧勝した2005年9月の郵政選挙以来約4年ぶり。自民、民主の二大政党ががっぷり四つに組んで争う初の本格的な

政権選択選挙となる。「政権交代」を訴える民主党に対し、自民党は

日本海新聞特別号外